



児童たちが自然環境の素晴らしさや地域の魅力を発表する

第11回みなかみ町環境学習発表会を開催 2/4

カルチャーセンターにて「第11回みなかみ町環境学習発表会」が開催され、町内の小学生たちが日頃の環境学習や地域学習の成果を発表しました。

今年度は、町内の全ての小学校がユネスコスクールに登録され、子どもたちの自然や地域への理解と関心がさらに深まっています。発表会では、自然環境や暮らしの中から学んだことを、子どもたちが工夫を凝らしたプレゼンテーションで披露しました。どの発表からも、みなかみ町の美しい自然や地域文化を大切にしたい気持ちが強く伝わ

てきました。

また、ロビーでは環境保全活動の展示や自然体験コーナーが設けられ、来場された皆さんは楽しみながら森の恵みを体感しました。参加者からは、「みなかみ町の自然環境の魅力を再発見した」「素晴らしい発表で、大人も大変勉強になった」といった声が聞かれ、みなかみ町の自然環境や伝統文化の大切さを改めて感じ、みなかみ町の未来に希望を抱かせる貴重な時間となりました。



●各学校の発表紹介

古馬牧小学校 「ホテルの里 みなかみ町」



ホテルの生態や生活環境について調査研究し、ホテルとともに生きていくために必要な自然環境について考察しました。

桃野小学校 「知ろう！知らせよう！ 私たちの大峰山」



大峰山学習で学んだ野生動植物について、クイズを交えて紹介。大峰山の生態系や自然の豊かさについて楽しく学べる工夫を凝らしました。

月夜野北小学校 「ひみつをさぐるうみなかみ ユネスコエコパーク」



谷川岳や利根川、野生動物など、みなかみユネスコエコパークの特徴的な自然をテーマに設定。その魅力について考える発表をしました。

水上小学校 「いいところ発見大作戦！」



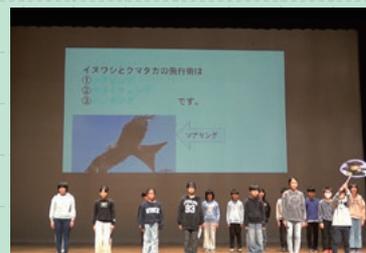
町内のホテルや飲食店へヒアリングを実施し、得た情報をすごろくにまとめました。修学旅行先との比較を通じ、町の魅力を再発見しました。

藤原小学校 「藤原の産業」



昨年学んだ自然環境をさらに深掘りし、旅館やホテルへのヒアリングを通じて、自然資源と観光業の密接な関係を考察しました。

新治小学校 「守ろう 奇跡の赤谷の森」



なぜ赤谷の森が「奇跡の森」と呼ばれるのかを調査研究。生態系の特徴と、それを守ることの大切さについて発表しました。



企業・学校・地域・行政が一体となり、森林と人を育む

スターバックス×利根実業高校×みなかみ町 森林整備体験会を開催

1/21

みなかみ町では、豊かな森林資源を次世代へ引き継ぐとともに、地域内での循環と新たな価値創出につなげるため、森林資源の活用に積極的に取り組んでいます。その一環として、スターバックス コーヒー ジャパン株式会社と締結している「利根川源流から始める豊かな森林と人を育む連携協定」に基づき、町内では2回目となる森林整備体験会を実施しました。

今回は、利根実業高等学校グリーンライフ科森林科学コースの生徒も参加し、竹林整備や竹炭づくりを行いました。本取り組みは、企業・学校・地域・行政がそれぞれの役割を担いながら連携し、森林整備を「学び」や「人づくり」につなげることを目的としています。



森林視察



竹を運搬



竹を破碎

当日は、チェーンソーの取り扱いを学んだスターバックスの県内店舗の店長が竹を伐採し、生徒が破碎機を使って竹をチップ化しました。

また、昨年5月の体験会で伐採した竹を活用した竹炭づくりや、松ぼっくりなどを使った飾り炭づくりも行われ、森林資源を無駄なく活かす工夫を体験しました。



飾り炭



囲いを設置



竹を燃やす



一気に消火



袋詰め

昼食には地元食材を使ったカレーが振る舞われ、食後にはコーヒー抽出体験も実施。森林整備から「食」や「学び」へとつながる一連の体験を通じ、資源を循環させる大切さを実感する機会となりました。

町では今後も、企業や学校との連携を深めながら、継続的な森林整備や町産材の利活用を進めていく予定です。スターバックスにおいても町産材の活用が検討されており、森林資源の価値を地域内外へ広げていく取り組みが期待されています。



お湯を慎重に注ぐ利根実生



手作りカレー



コーヒーと竹炭の火と一緒に作った焼き芋



安心安全な子育てとこどもたちの健やかな成長を支援

パルシステム群馬と連携協定を締結 2/5

こどもが健やかに成長できる環境づくりを目指し、町は生活協同組合パルシステム群馬と「子育て支援」の推進に係る連携協定を締結しました。

この協定に基づき、令和8年度から同組合が提供する乳児製品の詰め合わせ「おめでとうばこ」を町で生まれた赤ちゃんへプレゼントするなど、相互連携のもと、子育て支援の充実に向けた取り組みを推進していきます。



▲阿部町長（左）、大平真紀子理事長（右）

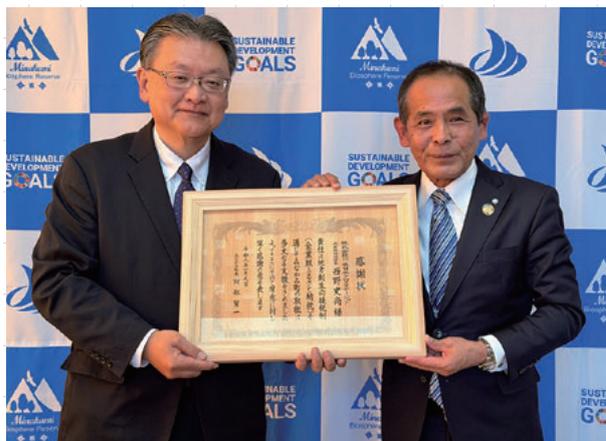


谷川連峰の自然環境保護活動を支援

JRクロスステーションが町へ寄附 1/9

株式会社JR東日本クロスステーションウォータービジネスカンパニー（竹内健治常務取締役）から、企業版ふるさと納税として300万円の寄附をいただきました。また、同社は谷川連峰の自然保護活動等にも取り組んでいただいております。

この寄附金は、多くの方々に谷川岳の自然と安全にふれあい、楽しんでいただくためのエコツーリズム活動に役立てていきます。



▲竹内健治常務取締役（左）、阿部町長（右）



魅力あるコミュニティ助成事業実績報告

小川区に伝統芸能備品を整備 2/20

公益財団法人群馬県市町村振興協会では、宝くじの収益による社会貢献広報事業として、魅力あるコミュニティ助成事業を行っています。

この事業は、地域コミュニティ活動に必要な設備等の整備に対し助成する事業で、地域コミュニティ活動の強化を図り、地域社会の健全な発展・住民福祉の向上を目指すものです。今回は、小川区が太々神楽で使用する備品を整備しました。



▲太々神楽で使用するお面



人権に関する活動で地域を支える

人権擁護委員を委嘱 1/1

3期9年の長きにわたり人権擁護委員としてご活躍された高橋きよみさん（上組）が退任となり、新たに下田佳奈子さん（後閑）が人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。また、生津保茂さん（猿ヶ京）は再任3期目を迎えます。

人権擁護委員は、地域において、人権相談や人権啓発、また人権救済など、各種人権擁護活動を行っており、お二人の今後の活躍が期待されます。



▲下田佳奈子さん



▲生津保茂さん



全国で13事例のうちの一つに選出

里山林整備で地域活性化 2/17

みなかみ町で自伐型林業団体として活動する木木木林代表：本多孝志さん（東峰）が、林野庁事業「森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業優良事例表彰」を受賞されました。

地元自治体と連携した里山林整備活動により、地域コミュニティの維持・活性化に寄与されたことが評価され、全国で13事例のうちの一つに選出されました。



▲木木木林 代表 本多孝志さん（左から2番目）



地方自治の発展に多大なる貢献

故眞庭幸男さんが従六位を受章 1/13

故眞庭幸男さんは、旧水上町議会議員およびみなかみ町議会議員として7期約23年にわたり奉職されました。その間、水上町議会議員、同副議長、みなかみ町議会副議長等を歴任され、地方自治の発展のため多大な貢献をされました。

こうした多年にわたる功績が認められ、平成22年には旭日双光章を受章、このたび従六位が授与され、阿部町長からご家族へ伝達されました。



▲故眞庭幸男さんの長男 眞庭達也さん（左）、阿部町長（右）



お米の美味しさを競う

米品評会等の結果を報告 1/20

第27回米・食味分析鑑定コンクール国際大会大型農業法人部門において、水月夜生産組合の本多義光さんが特別優秀賞を受賞し、第22回お米日本一コンテストでは、本多義光さん（新巻）と原澤新助さん（月夜野）が金賞を受賞しました。

本町では、美味しいお米の生産を広くPRするとともに、水稻生産の活性化を図るため、各種米品評会に生産団体として積極的に参加しています。



▲左から原澤さん、竹内さん、阿部町長、本多さん



下水道事業の健全な運営を目指して

下水道事業運営審議会から答申 1/20

町は、下水道計画や使用料の見直しなどの課題を解決していくため、下水道事業運営審議会に諮問を行いました。現状の経営状況や生活への影響など全4回の審議を経て、令和8年1月20日に答申書が町長に提出されました。

この答申を踏まえ、健全に経営していくため、町では使用料改定について慎重に検討を進めてまいります。



▲答申書を受け取る阿部町長（右）



地域おこし協力隊の活動

NPO法人水上自然遊楽 須藤 大空さん

皆さん、こんにちは！昨年7月から特定非営利活動法人水上自然遊楽に所属し、地域おこし協力隊として活動している須藤大空(すどうそら)と申します。私は、バスケットボールスクールや幼児運動教室での指導、利根商業高等学校男子バスケットボール部の指導、そして総合型地域スポーツクラブの運営などに携わっています。

小学校3年生から高校3年生までバスケットボールを続けてきた経験と持ち前の明るく元気な性格を生かして、楽しくメリハリのあるスクール指導を行っています。選手としてプレーする立場から指導する立場になったことで最初は不安もありましたが、先輩方からのアドバイスをもとに日々工夫を重ね、スクールの生徒達から「先生！レイ

アップ上手くなったよ！」「今日もスクール楽しかった」と言ってもらえることが何よりも嬉しい瞬間です。これからも、コーチライセンス・審判ライセンスの取得やより多種目の指導ができることを目指して日々精進していきます。

みなかみ町に移住してからは、自然の美しさやそれを生かした沢山のアクティビティ。豊かな自然で育まれた美味しいごはんや、優しく受け入れてくれた町民の皆さまのお陰で、とても充実した生活を送れています。私の目的は、スポーツを通してみなかみ町を元気に、そして盛り上げていくことです。これからも日々成長できるように頑張りますので、よろしくお願いします。



▲バスケットボールスクールでの指導



▲MINAKAMI TOWN.EXEのメンバー

まちづくり協議会だより 第81号

問 まちづくり協議会事務局 (企画課)

☎ 0278 (25) 5030

令和7年度月夜野支部の活動報告～まちづくりで生まれる世代を超えた交流～

月夜野支部では今年度、地域の歴史や特色を活かした様々な町民主体の活動を行いました。例えば「脳トレ短歌を楽しむ会」や「地域おこし協力隊の講演会」、「郷土の歴史探訪ツアー」、さらに「花の植栽管理」や「こどもたちの登下校見守り」など、多彩な事業を実施しました。

一方で、熊の出没が相次いだことや、少子高齢化による担い手不足で活動の継続に悩むこともありました。しかし、メンバーで何度も話し合い、工夫を続けた結果、今年度も無事に活動を続けることができました。

長年まちづくりに関わる方から、若い世代まで多くの町民が参加し、世代を超えた交流が生まれています。今後も広報やSNSを活用して月夜野支部の活動をご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします！

まちづくり協議会月夜野支部
岡村 竜輝



▲登下校の見守り活動



▲脳トレ短歌を楽しむ会